

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐渕真人

問い合わせ先: IRチーム 小岩朋紀

TEL:03-3862-2768

◆売上高(単月) 前年対比

(金額単位:千円)

10月度(単月)	前期:2025年1月期	当期:2026年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	122,334	122,226	99.9%
メイキングトイカテゴリー(注1)	5,240	263	5.0%
その他(遊具・乗り物・育児等)	7,693	2,587	33.6%
海外販売・ロイヤリティ収入	16,831	20,421	121.3%
合計	152,098	145,497	95.7%

2～10月度(累積)	前期:2025年1月期	当期:2026年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	937,925	875,857	93.4%
メイキングトイカテゴリー	24,924	4,513	18.1%
その他(遊具・乗り物・育児等)	108,064	33,269	30.8%
海外販売・ロイヤリティ収入	173,425	134,306	77.4%
合計	1,244,337	1,047,945	84.2%

(注1)ドリーミー・DIYトイ「ねじハビ」シリーズは2026年1月期に製造終了いたしました。

※一部商品の製造終了に伴い、商品カテゴリーの区分を見直す予定です。新たな区分は次期2027年1月期より適用いたします。

◆10月度発売新商品・リニューアル商品

当月は新商品およびリニューアル商品の発売はありません。

◆10月度および直近TOPICS

乳児・知育・構成玩具カテゴリーは構成玩具が好調なものの、既存定番品の「やりたい放題シリーズ」で今年7月発売の「やりたい放題プレミアム」の流通切替遅れによりリニューアル効果が分散していましたが、ここにきて大手ベビー・子ども用品チェーンのセラウトが昨対100%超に回復した点から棚替え進捗による改善効果が表れ始めている可能性があるかと注視しています。シリーズ自体の認知は十分高いので、年末にかけて店頭プロモーションなどを検討してまいります。

また、好奇心事業第2弾として、東海理化との共同開発による幼児向けデジタル知育サービス「さわるTECH(テック)」を10月24日にリリース。独自の触覚体験コンセプトが評価され、早くも3つのアワードを受賞と、大きな反響を得ています。

●直近のPR/IR情報 「さわるTECH(テック)」 <https://sawarutech.com/>

「さわるTECH(テック)」

日本e-Learning大賞2025
最優秀賞デジタルえほんアワード第11回
いしかわこうじ賞第6回 AES GLOBAL AWARD
Platinum賞■ピープルIR公式 X(旧Twitter)を開設しました。▶https://x.com/People7865_IR■note連載「IあるIR ピープルIR担当の試行錯誤」▶https://note.com/people_pr/m/m48d1b60a398c

IR note連載「IあるIR」第2回を公開しました。テーマは“減収減益は種まき期”。



昨年および昨年度、事業終了など抜本的な改革により収益改善を図りました。事業終了により確保したリソースを新事業開発チームに最も多く割り当てつつ、新事業をスムーズに、スピーディに創出する新たな仕組みづくりを、中期的な視点に立ち実施しています。直近ではパーパスのキーワード「子どもの好奇心」を軸に8つの新事業チームが進行しており、その「好奇心事業」第1弾が2025年春(2026年1月期)に、続いて第2弾を2025年10月24日(2026年1月期)にローンチしました。

一方、このローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成に重要と考え、広報活動を積極的に行っております。

また、2022年より活動を開始した当社「ピープル赤ちゃん研究所」は当社のコアコンピタンスである「赤ちゃん観察視点」を社内外に伝えることを目的とした活動を展開しており、母親、父親向け「赤ちゃんをあげようワークショップ」を主活動とし、地方自治体や教育機関とのコラボレーションも実施しております。

これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に行っております。

- ①既存ロングセラー商品のリブランディングによる、販売数の底上げ
・シリーズ内の新商品の発売キャンペーン
・周年イベントの開催(2026年1月期: やりたい放題40周年、ピタゴラス33周年、お米のおもちゃ15周年)
- ②PR、IR活動にリソースを割き、情報発信力を強化

(ご参考) 業績予想(2025年12月1日公表)

2026年1月期通期(2025年1月21日～2026年1月20日)業績予想

	2026年1月期通期 業績予想 (百万円)	前期比(%)
売上高	1,630	85.1
営業利益	△189	—
経常利益	△189	—
当期純利益	△4	—